

公德の国 JAPAN ※ 目次

はじめに 7

目次

「公德心」の系譜 13

「秘すれば花なり、秘せずば花となるべからず」と「公德心」 19

「徳」の定義 22

「公」についての日本語と漢語の使用例 25

『論語』に「公德」なし 29

福澤諭吉の「公德」論	31
「公德」を評価した夏目漱石	34
『吾輩は猫である』の「公德」の二義性について	38
『論語』の「徳」とは	42
『呂氏春秋』に知見する「公」と「徳」	64
福澤諭吉の「智徳」と「公德」論	73
朱子学をこえた日本	92
国史の「公」秩序と朱熹	98
なぜ「公德心」なのか	102
新渡戸稲造の「智徳」	106
渋沢栄一の「私徳と公德」意識	108
後藤新平と「公德心」	110
新渡戸稲造『武士道』上梓から三十四年後の真実	113
「公德」の欠落した漢字文化圏	119
「公德」とはなにか	125
「国際連盟」初代事務次長としての日本人	127
「公德心」の発露	132
パリ講和会議における日本提案の「人種差別撤廃案」	136

乃木希典とダグラス・マッカーサーの「公德心」 140

「徳」のきずな日本外交 146

杉原千畝と「公德心」 151

肥沼信次博士と「公德心」 155

結びにかえて 159

参考文献 164

謝辞 167

付・英文抄訳